

市会議案第6号

物価上昇率を上回る老齢基礎年金等の支給額の引上げ  
を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和7年3月24日提出

吹田市議会議員 玉井美樹子

同 柿原 真生

同 益田 洋平

同 村口久美子

同 竹村 博之

同 塩見みゆき

物価上昇率を上回る老齢基礎年金等の支給額の引上げ  
を求める意見書（案）

公的年金は高齢者の生活の基盤となっており、その大部分が消費に回ることから、我が国の経済を支える大きな役割を果たしている。

しかしながら、2019年（令和元年）10月の消費税増税に始まり、医療費、介護保険料の負担増、更には急激な物価高騰により、高齢者世帯の半数以上が生活が苦しいと感じているとの統計もあり、近年の同世帯の実質的な消費支出は、増税前と比較すると明らかに減少している。

そのような中、国は今年4月から公的年金の支給額を1.9%引き上げることを選定したが、2024年（令和6年）の物価上昇率は2.7%となっており、公的年金の引上げ率が物価上昇率よりも低く抑えられていることから、実質的には大きく目減りする。このため、今後、同世帯の生活は一層困難となり、消費活動が更に縮小して、地域経済にマイナスの影響を与え、地方公共団体の税収減につながるものが危惧される。

社会情勢等を十分に考慮した公的年金制度とするよう早急に見直さなければ、高齢者を始めとする年金受給者の命と暮らし、また健全な地方財政を守ることはできない。

よって、本市議会は政府及び国会に対し、物価上昇率を上回る老齢基礎年金等の支給額の引上げを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年3月 日

吹 田 市 議 会